

# 医労連速報 '13春闘

2013年2月12日 No2 東京都台東区入谷 1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

## 夜勤シンポ270名、保護と規制を

2月6日の夜勤シンポジウムは、7全国組合44都道府県270名が参加しました。労働科学研究所の佐々木司氏に基調講演とコーディネーターをお願いし、郵政産業ユニオン・自交総連（バス・トラック・タクシー労働者を組織）・オーストラリア在住20年間のリハビリコンサルタントの森本さん、そして日本医労連からは看護対策委員の小林吟子さんがパネリストとして発言しました。



郵政の仲間は、2004年に「仮眠なしの10時間深夜勤4日連続」のシフトになってから在職死亡が10年間で126人と健康破壊が進み、裁判とILOに提訴して闘ってきたことを紹介。交通の仲間は、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（平成元年労働省告示第7号）」を出させているが、罰則等の強制力がなく、規制緩和の中で労働条件が悪化、「居眠り運転をした」はタクシーで32%、バスで40%と安全上の問題にもなっていると指摘。小林さんは、夫婦とも看護師で家族にも負担をかけながら3交替・2交替と勤務を続けてきた経験から、夜勤協定＝増員協定、看護をきちんと提供できる体制か見直そうと呼びかけました。



発言する小林吟子さん

森本さんはワークライフバランスに向けて働き方を見直そうと、オーストラリアの看護配置「4対1」のたたかひや、繰り返しストライキを行ってマスコミや政府を動かしていることを紹介しました。長時間・交替勤務が健康にも安全にも「有害」であることは数々の科学的知見が示されています。今こそ、夜勤・交替労働に「規制と保護」が必要です。交替勤務を希望せざるを得ない背景にある低賃金の改善も合わせ、2013年春闘で立ち上がりましょう！！

（夜勤シンポについては「医療労働者」の他に、「医療労働」でも特集で報告します。）

春闘情報を日本医労連に寄せて下さい。  
([n-ask@irouren.or.jp](mailto:n-ask@irouren.or.jp))

# 566名に要請、紹介議員13名

夜勤シンポ翌日の7日、国会議員要請と『社会保障こそ成長戦略』医団連行動第3弾」を行いました。

231名が参加し、566名の国会議員に要請し、13名が紹介議員となりました。

医団連院内集会では、保団連の住江会長が主催者挨拶を行いました。1月24日に第1弾として院内集会と厚生労働省交渉を行ったことにふれ、「この間の私たちの取り組みが、『生活保護基準引き下げの影響回避の検討』『被災地の医療や介護の自己負担減免継続』に道を開いている。国民のいのちと健康を守るために社会保障改悪・増税を許さないたたかひの共同を拓げよう」と訴えました。社民党の吉田参議院議員、共産党の田村参議院議員が激励挨拶を行い、10名の秘書が参加しました。全日本民医連、被災地3県などから6名が取り組み状況や地域の実態を報告しました。



挨拶する住江会長



吉田議員



田村議員



静岡の仲間と岩井議員（自民）

議員本人と会えたグループも意外に多く、やはり地元の力を実感！！です。静岡の仲間は議員のカメラで撮ってもらい、送ってもらったとのこと。「議員になる前、特養で働いていた」と話し、こちらの話も良くきいてくれたと。ぜひ、紹介議員も宜しく！



2月8日の全労連・国民春闘共闘の「いのち・暮らし・雇用を守れ2・8中央総決起集会」全労連女性部「菜の花春闘行動」は、寒風の中、終日行われ、日比谷野音には2000名が結集しました。春闘本番です！